

## 令和7年度 学校経営報告書（自己評価）

|      |    |     |                       |     |       |
|------|----|-----|-----------------------|-----|-------|
| 学校番号 | 46 | 学校名 | 静岡県立藤枝東高等学校<br>定時制の課程 | 校長名 | 森谷 幹子 |
|------|----|-----|-----------------------|-----|-------|

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

|   | 取組目標                          | 成果目標   | 達成状況  | 評価 | 成果と課題   |
|---|-------------------------------|--|---|----|---|
| 1 | <b>基本的な生活習慣の確立と自律心の涵養を図る。</b> | <p>ア. 面接週間以外で面接を実施した教員 100%<br/>「相談できる教員がいる」と回答する生徒、保護者 80%以上</p> <p>イ. 授業の遅刻・早退数が前年度より減少</p> <p>ウ. 通学時の交通事故 0件</p> <p>エ. 「保健だより」の発行年5回以上<br/>健康や安全に関する高い意識を持つ生徒 75%以上</p> | <p>ア. ◎教員全員が頻繁に声掛けを行い、各担任は面接週間以外でも面談を実施できた(100%).<br/>◎「相談できる教員がいる」と回答した生徒、保護者はともに 100%だった。</p> <p>イ. ○年間生徒1名当たりの遅刻および欠席数が 15.7回で昨年(15.8回)とほとんど変わらなかった。</p> <p>ウ. ◎9月に警察による交通安全教室を実施した。通学時の交通事故は0件であった。</p> <p>エ. ◎保健だよりは6回発行できた。<br/>△健康や安全に対して高い意識をもつ生徒は 50%にとどまった。</p> | A  | <p>ア. 全教員協力のもと目標が達成できた。来年度もこの状態を維持したい。</p> <p>イ. 声掛け等の指導を行ってきたが、成果が出なかった。来年度は社会人となることを意識させて指導していきたい。</p> <p>ウ. 目標は達成したが、来年度から交通ルールが改訂されるため、それを意識させつつ、交通事故0件を維持したい。</p> <p>エ. 健康や安全についての情報提供の頻度を維持させつつ、生徒の生活の実情を考慮し、啓発に努めたい。</p> |
| 2 | <b>学ぶ意欲を高め、基礎学力等を定着を図る。</b>   | <p>ア. 「授業がわかる」と回答する生徒 75%以上</p> <p>イ. 授業において ICT を効果的に活用している教員 80%以上</p> <p>ウ. 年間3回以上の研修会の実施<br/>生徒の学習改善につながる授業改善を行っている教員 80%以上</p>  | <p>ア. ◎「授業がわかる」と回答した生徒は 80%以上であった。</p> <p>イ. △定時制で授業をもつ教員 8名中5名(63%)が授業で ICT を効果的に活用している。</p> <p>ウ. ◎年間10回以上の研修会を実施し、観点別評価の方法や授業改善について話し合うことができた。<br/>◎全教員が情報交換を密に行い、生徒理解を含め、個に応じた授業改善を行っ</p>   | B  | <p>ア. 今まで通り生徒の実態に応じて個別に丁寧に対応していきたい。</p> <p>イ. 個々の生徒の学び方を尊重し、必要に応じて ICT を効果的に活用していきたい。</p> <p>ウ. 教員の実情を踏まえて十分な研修機会を確保する。<br/>各々の教科・科目で連携し、生徒の実情に合った授業展開を続けていきたい。</p>   |

|   |                                       |   |  |   |  |
|---|---------------------------------------|---|--|---|--|
|   |                                       | エ. 基礎学力テストの実施年間3回以上。資格検定へチャレンジする生徒3人以上  | た。<br>エ. ◎基礎学力テスト年間3回実施できた。<br>△資格検定に挑戦した生徒はいなかった。   |   | エ. 基礎学力テストを通じて今までと同様に基礎学力の定着を図り、具体的な目標を設定しながら目標に向けた取り組みを行っていきたい。   |
| 3 | <b>進路実現に資する望ましい勤労観・職業観を育成する。</b>      | ア. 進路行事参加後の振り返りによる肯定的な評価 70%以上<br>イ. 「自分の良いところがわかる」と回答する生徒 70%以上  | ア. ◎進路行事参加後に肯定的な評価をした生徒は90%以上であった。<br>イ. △「自分の良いところがわかる」回答した生徒は58.3%にとどまった。  | B | ア. よい成果が得られている。生徒の個々のニーズに合わせて進路行事を計画していきたい。<br>イ. 褒める・認めるを徹底し、自己肯定感向上を目指したい。   |
| 4 | 多様な人々との協働を通して、社会性(コミュニケーション能力)の向上を図る。 | アイ. 各行事の参加率80%以上、満足度60%以上<br>各行事の事前・事後指導の実施100%<br>ウ. 「人間関係が良い」と回答する生徒70%以上<br>エ. スマートフォンの不適切な使用による指導0件 | ア. ◎各行事の参加率は、94.4%であった。また、満足度は95.4%であった。<br>イ. ◎ほとんどの生徒が、生活体験発表では、自身の体験をもとに自信をもって発表する姿が見られた。<br>ウ. ◎生徒が多く行事で企画から積極的に参加し、他者と関わろうとする姿がみられた。また、「人間関係が良い」と回答した生徒は91.7%であった。<br>エ. ◎スマートフォンの不適切な使用による生徒課からの指導は0件であった。 | A | ア. 目標を十分達成している。来年度も生徒が満足できる行事を生徒会と教職員と一丸となって計画していく。<br>イ. 今年度と同様の成果が出るように取り組んでいく。<br>ウ. 適切な人間関係を維持できるように今年度同様指導していきたい。<br>エ. スマートフォンを使用する、しないの区別を明確に指示し、使用のメリハリをつけるように生徒に指導しながら、今年度同様の成果を得ていきたい。 |

|   |  |  |  |  |
|---|--|--|--|--|
| <p>5</p> <p>より良い学習環境の整備充実及び安心安全で生き生きと活動できる学校づくりを推進する。</p> |  | <p>ア. 防災訓練の実施年間2回<br/>地域防災訓練等への参加者数増加</p> <p>イ. 健康や安全に関する高い意識を持つ生徒75%以上</p> <p>ウ. 支援が必要だと判断した生徒への面談の実施、SCへの接続100%</p> <p>エ. 個人情報の取扱い等に関する不祥事0件</p> <p>オ. 不備・未実施等0件</p> <p>カ. 出欠報告、ミニミニ通信の発行年6回以上<br/>「通信などを読んでいる」と回答する保護者80%以上</p> <p>キ. 「業務が改善された」と感じる教員80%以上</p> | <p>ア. ◎防災訓練を年間3回実施できた。<br/>○地域防災訓練等への参加者数が昨年度と同様1人であった。</p> <p>イ. △健康や安全に関する高い意識を持つ生徒は50%にとどまった。</p> <p>ウ. ◎ 支援が必要だと判断した生徒への面談を実施した。また、SCにも確実につなげることができた(100%)。</p> <p>エ. ◎個人情報の持ち出し簿を整理した。不祥事は0件だった。</p> <p>オ. ◎計画的な施設管理や消耗品購入等が実施できた。不備・未実施等は0件だった。</p> <p>カ. ◎ミニミニ通信は11回発行し、生徒の学校での様子を発信できた。<br/>△「通信などを読んでいる」と回答した保護者は60%ほどにとどまった。</p> <p>キ. ◎定時制課程常勤教員全員がICT機器の活用によって「業務が改善された」と回答した(100%)。</p> | <p>B</p> <p>ア. 実用性のある防災訓練を実施し、防災意識を高め、地域防災訓練への参加も促していきたい。</p> <p>イ. 健康や安全についての情報提供の頻度を維持させつつ、生徒の生活の実情を考慮し、啓発に努めたい。</p> <p>ウ. 全日制との連携を密にして今年度同様に支援、SCへの接続を継続していきたい。</p> <p>エ. 校内研修で個人情報の取扱いについて取り上げながら、今年度と同様に取り組んでいきたい。</p> <p>オ. 事務職員や用務員と連携をとり、今年と同様の成果を達成していきたい。</p> <p>カ. 今年度と同様に学校の様子を外部に発信していき、情報が保護者に行きわたる工夫を講じたい。</p> <p>キ. よい成果は得られているため、この状態を維持していきたい。</p> |
|---|--|--|--|--|